幼稚園唱歌集 全

文部省

幼稚園唱歌集　全

文部省音樂取調掛
編纂
幼稚園唱歌集
全

幼稺園唱歌集

緒言

ハ、兒童ノ、始メテ幼稺園ニ入リ、他人ト交遊スルコヲ習フニ當リテ、嬉戯唱和ノ際、自ラ幼徳ヲ涵養シ、幼智ヲ開發セシガ為ニ、用フベキ歌曲ヲ纂輯シタルモノナリ。

一唱歌ハ、自然幼稺ノ性情ヲ養ヒ、其發聲ノ節度ニ慣レシムルヲ要スルモノナレバ、殊ニ幼稺園ニ欠ク可ラ

ズ。諸種ノ園戯ノ如キモ、亦音樂ノ力ヲ假ルニ非レバ、十分ノ効ヲ奏スルヿ能ハザルモノナリ。

一　幼稚園ノ唱歌ハ、殊ニ拍子ト調子トニ注意セザル可ラズ。拍子ハ、緩徐ニ失スルトキハ、活潑爽快ノ精神ヲ損シ、調子ノ高低、其度ヲ失スルトキハ、啻ニ音聲ノ發達ヲ害スルノミナラズ、幼稚ノ性情ニ厭惡ヲ釀シ、其開暢ヲ妨グル恐レアリ。故ニ本

編ノ歌曲ハ、其撰定ニアタリ、特ニ此等ノ要旨ニ注意セリ。

一幼穉園ニハ、箏胡弓、若クハ洋琴、風琴、ノ如キ樂器ヲ備ヘテ、幼稚ノ唱歌ニ協奏スルヲ要ス。是レ樂器ニヨリテ、唱和ノ勢力ヲ增シ、深ク幼心ヲ感動セシムルノ力アルヲ以テナリ。

明治十六年七月

幼穉園唱歌集

目次

一大原女
一川瀬の千鳥
一竹むら
一雨露
一冬のそら
一花ざく春
一やよ花櫻
一燕
一真直に立よ
一我大君
一さゝなる門
一うづまく水

第一　心(こゝろ)ハ猛(たけ)く

一　こゝろハたけく。きハつよく。
うたがひなくて。よくまなべ。
であへることに。うごかぬ人(ひと)を。
ますらをとしも。いふぞかし。

二　ちからもつよく。いさましく。
おくれずすゝめ。こどもらよ。
であへる敵(てき)に。おそれぬひとを。
もののふとしも。いふぞかし。

第二

1. テフ一テフ テフ一テフ ナノハニ トマレ
2. おきよ おきよ ねぐらの すずめ

ナノハニ アイタラ サクラニ トマレ
あさひの ひかりの さしこぬ さきに

サクラノ ハナノ サカユル ミヨニ
ねぐらを いでて こずゑに とまり

トマレヨ アソベ アソベヨ トマレ
あそべよ すずめ うたへよ すずめ

第二 蝶々(てふ〳〵)

一 てふ〳〵てふ〳〵。菜(な)のはにとまれ。
なのはにあいたら。櫻(さくら)にとまれ。
櫻(さくら)のはなの。さかゆるみよに。
とまれよあそべ。あそべよとまれ。

二 おきよ〳〵。ねぐらのすゞめ。
朝日(あさひ)のひかりの。さしこぬさきに。
ねぐらをいでゝ。こずゑにとまり。
あそべよすゞめ。うたへよすゞめ。

第三

2/4
1: スヽメ スヽメ アシトク スヽメ トマレ トマレ
2: まなべ まなべ あさめて まなべ ならを ならゐ
イチドニ トマレ トマルモ ユクモ サシヘノ マヽニ
たゆまず ならへ まなびの みちを たえせず ならへ
タツモ 井ルモ ヲシヘノ マヽニ サクハナモ ナクトリモ
よむも うくも をしゐの まゝに よむふみも おくども
オモシロキ ハナゾノヤ スヽメ スヽメ アシトク スヽメ
おもしろき うひまなび まなべ まなべ あさめて まなべ

第三　進(すゝ)め〳〵

一　すゝめ〳〵。あしとくすゝめ。
とまれ　とまれ。いちどにとまれ。
とまるもゆくも。教(をしへ)のまゝに。
たつもゐるも。をしへのまゝに。
咲(さく)花(はな)も。鳴(なく)鳥(とり)も。面白(おもしろ)き花園(はなぞの)や。
すゝめ〳〵。あしとくすゝめ。

二　まなべ〳〵。はげめてまなべ。
ならへ〳〵。あゆまばならへ。
まなびのみちを。たえずはかよへ。
よむもかくも。をしへのまゝに。
讀(よ)むふみの。奥(おく)までも。面白(おもしろ)き初學(うひまな)び。
まなべ〳〵。はげめてまなべ。

第四
1
2
3
カスミカクモーカハタユーキカ
のすみははなーをるだつーれぞ
カスミテソレートミエ子ードモ
トバカリニホーフソノハナザカーリ
をだてぬともーそきてみるばのーそ
ナクウグヒスーニサソハレツツーモ
モモトリサヘーモウ一タフナリ
うれしきことーはよにもーなし
イッシカキヌールハナノーカゲ
小學唱歌集 初編
文部省

第四　霞(かすみ)と雲(くも)と

一　かすみか雲(くも)か。はた雪(ゆき)か。
　　とばかりにほふ。その花(はな)ざかり。
　　もゝとりさへも。うたふなり。

二　かすみは花(はな)を。へだつれど。
　　へだてぬ友(とも)と。来(き)てみるばかり。
　　うれしきことは。よにもなし。

三　霞(かすみ)はそれと。みえねども。
　　なく鶯(うぐひす)に。さそはれつゝ。
　　いつしか来(き)ぬる。花(はな)のかげ。

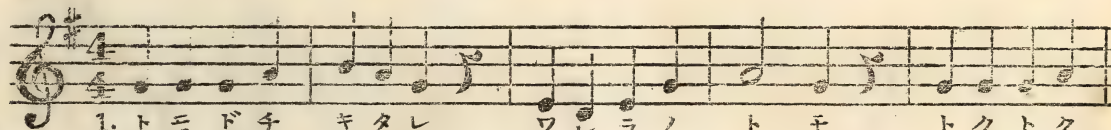
第五
第六

第五　學(まな)べよ

一　學(まな)べよくたゆまずうまず。
おくれずいそげよ。まなびの道(みち)を。

二　まなびの道(みち)ハ。やまさかおほし。
山(やま)さかこゆれバ。ひらく花(はな)にほふ。

三　ひらく花(はな)かざして。たかねの月(つき)を。
とく見(み)よとく見(み)よ。高根(たかね)の月(つき)を。

第六　にはつ鳥(とり)

一　トテッココ。トテッココ。トテッコココ。
おきよとつげて。とりがなく。

二　トテッココ。トテッココ。トテッコココ。
おこたりいさむる。にはつとり。

第七
1. トモダチ キタレ ワレラノ トモ トクトク
2. ひとびと きたれ いざとく こよ いざいざ
キタレ イザヤ コラ ヤマニ ノベニ
きたれ いざや こら ひとの みちを
アソビテ マシ ウタヲ ウタヒテ ユキテ
まなびて まし みちを たがへず ゆきて
マニシ ヲトコ ヲミナモ トモドモ ニ
まーー ひども われらも ともども に

第七　友どち

一
友どちきたまへ。われらのとも。
とく〳〵きたれ。いざやゝら。
やまに野邊に。あそびてまし。
うたをうたひて。ゆきてまし。
をとこをこちも。ともぐに。

二
ひと〴〵きたまへ。いざとく来よ。
いざ〳〵我あれ。いざやゝら。
人のみちを。まなびてまし。
道をゆごのつぼ。ゆきてはし。
ひともわれらも。ともぐによ。

第八

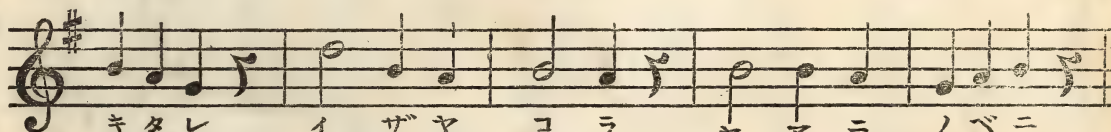
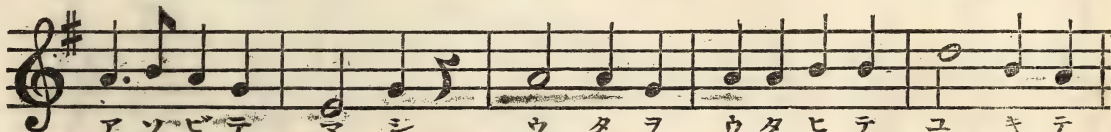
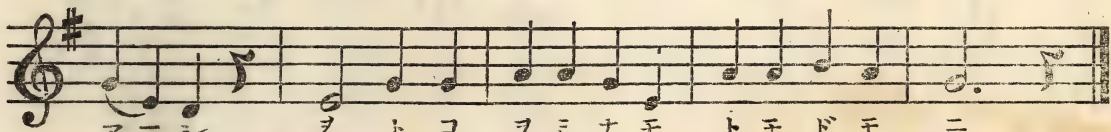
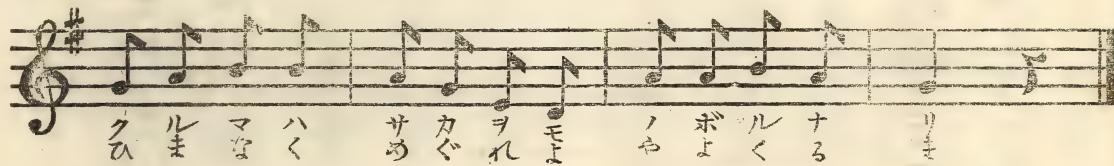
1 コ ド モ コ ド モ ツ ド メ ヨ コ ド モ
2 く る ま く る ま め ぐ れ よ く る ま
エンヤ ラ ホ ホ ホ エンヤ ラ ホ ホ ホ
えんや ら ふ ふ ふ えんや ら ふ ふ ふ
ク ル マ ハ サ カ ヲ モ ノ ボ ル ナ リ
ひ ま な く め ぐ れ よ や よ く る ま

第八 子供(こども)〳〵

一 おごも〴〵。つとめよおごとも。

エンヤラホホホ。エンヤラホホホ。

車(くるま)ハ坂(さか)をも。のぼるなり。

二 くるま〳〵。めぐれよくるマハ。

エンヤラホホホ。エンヤラホホホ。

ひまなくめぐれよ。やよ車(くるま)。

第九
小學唱歌集
文部省

第九　若駒（わかこま）

一　ゆけや若駒（わかこま）よ。トトトトトトトト。
かはせやのそいや。わがのれる。
わかこまよ。

二　いそげ我馬（わがうま）よ。トトトトトトトト。
やまぢのいそしかど。よくあゆめ。
まがうまよ。

三　なんぢ我為（わがため）の。するすみいけづき。
くちのひそだてん。とりぬぞそ。
とびらけき。

第十
1. クモカエキカノーハナノヨソメモー
2. をきこときぬるーはなのきつてはー
カヲリニシラルルヤセノサトビトー
くもをぞはこぞるやせのさとびとー
小學唱歌集第二
文部省

第十　大原女(おほはらめ)

一　くもか雪(ゆき)かと。
花(はな)のよそめを。
かをりにしらす。
やさのはとびと。

二　咲(さき)とはきぬる。
をちのさかりね。
雲(くも)をぞはこべる。
やせのさと人(びと)。

第十一
幼稚園唱歌集 全
文部省
1. カハセニ サワグ ムラチドリノ ー
2. くきばに すだく すずむしの ー
チク子ニ カゼゾ フキスーサブー チチ
なくねに つゆや とぎれーぬるー てて
チチチチチチ チ ヨ チチチチチチ チ ヨ
てん て て てん てん てん てん てん てん てん てん てん てん てん てん てん

第十一　川瀬の千鳥

一　川瀬にさわぐむらちどり。
なくねにかぜぞふきすさぶ。
チチチチチチチチチヨ。チチチ
チチチチチチヨ、

二　草葉にすだく。すゞむしの。
なくねにつゆやこぼれぬる。
リリリンリリリンリンリンリンリンリン。
リンリンリンリンリンリンリンリン。

第十二
第十三
1· アメツユ ウルホーヒ テ ー ミヤマーハ ホホヱミ
2· あうつき ゆきふーて ぬ ー そのふーに はなさき
サクラーハ ワーラヘリ イザユカン ウチムーレテー
にはにーは たーましく みよみーよ とくおーきてー
文部省

第十二 竹むら

一 たけむらいでゝ。ねぐらのたより雀も
千代と。うたふちより。そらとぶ鳥も。
おのづから。たのしき聲に。うたふらし。

二 うたへバこゝろも。うたゝかちえん。のそべハ
鳥もおそぶちより。たのしきうたを。
うたふまたに。おいどもをいつう。人となる。

第十三 雨露

一 雨つゆうるほひて。みやまハほゝゑみ。
櫻ハわらへり。いざゆうらんうちむれて。

二 あかつき雪ふりつみて。えだに花さき。
庭にも玉ちる。みよしく。とく、おきて。

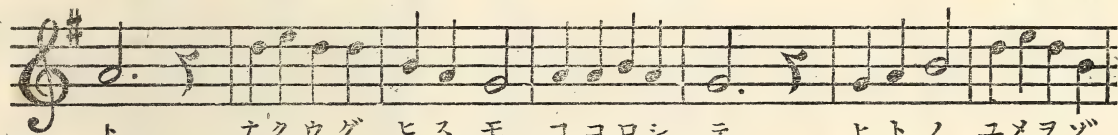
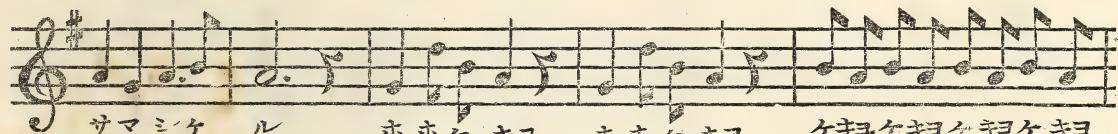
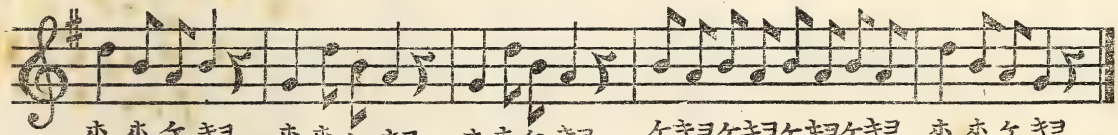
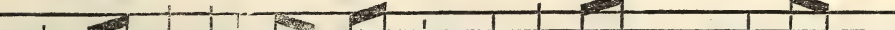
第十四
1· ミ ヨ ミ ヨ ミ ヨ フ ユ ノ ソ ー ラ ー ヲ ミ
2· よ め よ め よ め も じ も ふ ー み も よ
ヨ ミ ヨ ミ ヨ フ エ ノ ソ ラ ー ヲ ナ
め よ め よ め も だ も ふ み も た
ラ レ フ ー リ ー シ ー キ ア ラ シ ス ー サ ー ブ ミ
え ず わ ー す ー れ ー ず ま な ぞ な ー ら ー ゐ よ
ヨ ミ ヨ ミ ヨ ー ヤ フ ユ ノ ソ ー ラ ー ヲ
め よ め よ め ー や も じ も ふ ー み ー も

第十四 冬(ふゆ)のそら

一 みよ〱。ふゆのそらを。
みよ〱。ふゆのそらを。
あられふりしき。嵐(あらし)さけぶ。
ここよここよや。冬(ふゆ)のそらを。

二 よめ〱。文字(もじ)もふでも。
よめ〱。もじもふでを。
ゐえばとすれしぞ。まなべちからへ。
よめよめよめや。文字(もじ)もふでも。

第十五

4
4
ハナサクハルノアケボノヲ ハヤトクオキテミヨカシ
トナクウグヒスモココロシテ ヒトノユメヲヅ
サマシケル ホホケキヨ ホホケキヨ ケキヨケキヨケキヨケキヨ
ホホケキヨ ホホケキヨ ホホケキヨ ケキヨケキヨケキヨケキヨ ホホケキヨ

第十五 花さく春

花さくはるの。あけぼのを。
はやとくおきて。見よかしと。
なくうぐひすを。こゝろして。
人のゆめをぞ。さましける。

ホーホケキョ ホーホケキョ。ケキョ、ケキョ
ケキョ ケキョ ホーホケキョ。ホーホケキョ
ホーホケキョ。ケキョ ケキョ ケキョ ケキョ
ホーホケキョ。

幼稚園唱歌集
第十六
1. ヤヨーハナザークーラヨソダーツルワーレーヲバ
2. たまーさもめーでーぬるわれーをなきーらーひそ
3. アソーサヘツーチーサヘナレーヲゾメーグーソル
チチートモオモーヘハハートモオモーヘ
よるーひるわのーずたれーかはまもーる
アメーヲモフラーセツユーヲモオカーセ
第十七
1 カヘリユクートモカスミタチハーナサクハ
2 われをわすーれぬものならばまーたこんは
ルハワガヤドノフールスニカヘレツバクーラメ
るもあをやぎのいーとときたれつばくーらめ

第十六 やよ花桜

一 やよ花ざくらよ。そゞろわきちとバ。
ちらとも おもへ。はゝとちゝへ。

二 玉ともめでぬる。わきちをちなきらひそ。
よるひるわらはに。われわらハまもる。

三 あめさへはちさへ。ちれをぞめぐめる。
このめをもふらせ。つゆいもおほのさ。

第十七 燕

一 うつりゆくとも。霞たち。
花さくはるを。わがやどの。
ふるきそにこのつれし。つばくらめ。

二 わきをとほきめぬもあるらバ。
又こんとるもあをやぎて。
いとゝくきたまつばくらめ。

チカヨリスギズホドヨク
つきひははやくめぐれる
テラベユダンヲスルナ
ものべぞつきひとともに
ガウレイマモレ
まなびのみちに
アーシーナーミー
すーすーめーやー
ソロヘシヅカニアユーメ
わらべおこたるなのーれ

第十八

マスグニタテヨ　タダシークー
やなぎはめぐみ　をくらーはー
ムケヨ　ヒダリヲミルナヨ
をけそ　うぐひすきなきて
コギナモミルナヨカシラヲ
はるこそたけたれはげめや
マゲズ　ム子ヲバイダシ
わらだ　つとめよこでも

第十八　真直(ますぐ)にたてよ

一　ますぐにたてよ。たゞしくむけよ。

ひだりをみるなよ。右(みぎ)をもみるなよ。

あしをもまげな。むねをもだすな。

ちからはすぎず。ほどよくならべ。

ゆだんをするな。がくれいまもれ。

あしなみそろへ。しづかにあゆめ。

二

柳（やなぎ）もめぐみ。さくらハさけど。

鶯（うぐひす）きなきて。はるこそたけれ。

はげめやわらべ。つとめよあそばで。

月日（つきひ）ハはやく。めぐれるものぞ。

月日（つきひ）とともに。まなびの道（みち）に。

すゝめやわらべ。おこたるなかれ。

第十九
1. ワガオホ キミノ オホミ カゲ ヨヨニ
2. わがおふ きみの みめぐ みは そた いも
サカエテ カギリモ ナシ イザヲサ ナゴヨ
しーらず はーても なし いざをさ なごよ
キミガ ミカゲハ アーマツ ソーラ ツキノ カツラノ
きみが めぐみは みーあの はーら きよき ながれの
クーマモ ナーシ アフギテモ ミヨヤ、 オホミカー ゲー
いーづみ がーは いつあは つきん みめぐみー はー

第十九 我大君

一 わが大君の。おほみかげ。
世々にさかえて。かぎりもなし。
いざ幼児よ。君がみかげは天津空。
月のつきせて。はてもなし。
あふぎてもみよや。おほみかげ。

二 わが大君の。みめぐみぞ。
そこひもしられ。てもなし。
いざ幼児よ。君が恵は。みうみのはら。
きよれちがまの。いづこごのそれ。
いつのはつかん。ここめぐみぞ。

第二十
幼稚園唱歌集
二丈
文部省

第廿　さくなる門(もん)

一　さくちる門(もん)は。たまぞもん。とやらバこほれこの門(もん)。

二　こほをやこやれこのもん。まれらのたゝしおいもん。

三　こほきとおらバ。てやおし。このへていゆくも。こもつれく。

四　あおしきこうたをとひつ。おくれずまてめ友(とも)でちよ。

第二十一

1. ミヨミヨコドモ ウヅマク
ミヅヲ ウヅマク ミヅニ
ナラヒテ メグレ
ミヨミヨ
コドモ ウヅマク ミヅヲ

2. みよみよこども うづまく
みづを うづまく みづも
まきてぞ こくる
みよみよ
こども うづまく みづを

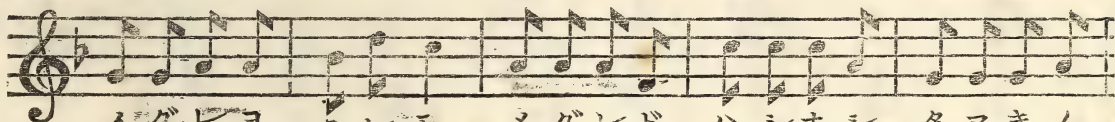
3. ミヨミヨコドモ ウヅマク
ミヅヲ ウヅマク ミヅノ
ヨルヒル ワカズ
ツトメヨ
コドモ ミヨミヨ コドモ

第廿一 うづまく水

一 みよ〳〵この淵。うづまく水を。
うづまく水に。ちらひてめぐれ。
みよ〳〵この淵。うづまくみづを。

二 みよ〳〵こゝを。うづまく水を。
うだよまく水の。ますますでゞくる。
ころ〳〵この淵。うづまくこゞとゞ。

三 みよ〳〵こゝぞ。うづまくこゝ淵。
うげまく水の。よるひるわかず。
つくよはなの淵。こゝよくなでて。

第二十二
幻燈唱歌集
文部省
1 メグレド ハシナシ タマキノ ゴトクニ マドカニ
2 あしなみ ただしく うたをを たをなて われらが
メグレヨ ヤヨコードーモ ヨキウタ ウタヒ
たまきは ヨくめーぐーる うたをど つきず
メグレヨ タレモ メグレド ハシナシ タマキノ
われらが うたは あしなみ ただしく うたをを
ゴトクニ マドカニ メグレヨ ヤヨコードーモ
たをなて われらが たまきは よくめーぐーる

第廿二　環

一　めぐれどはしなし。環のごとくに
まどかにめぐれよ。やよこども。
よきうたうたひ。めぐれよたれも。
めぐれどはしなし。環のごとくに。
まどかにめぐれよ。やよこども。

二　あしなみ正しく。うたさへたへなり。
われらがたまきは。よくめぐる。
うたへどつきず。われらがうたは。
足なみ正しく。うたさへたへなり。
われらがたまきは。とくめぐる。

第二十三
1 ワレラノ マリモ アソブガ ゴトク
2 われらの うたは うたをど つきず
ユキカヒ タエセズ タノシミ ツキセズ
つぎせず うたをば われらの ま
アソベヨ アソベヨ ウタヘヨ ウタヘ マリナゲ
ゆきうひ たえせず いとれも しろし まりなげ
アソベ ミナツレ ダチテ マリナゲ アソベ
あそべ みなつれ だちて まりなげ あそべ

第廿三 毬(まり)

一 これらのまりを。あそぶが如(ごと)く。
ゆきかひさへぎれば。たのしき撞(つき)ば。
あそべよく〳〵。うたへようたへ。
まりなげあそべ。こゝろつれだちて。
まりなげあそべ。

二 わきらがうたを。うたへどきけば。
つきせずうたへば。われらてまりさへ。
ゆきかひさえせば。いとおもしろし。
まりなげあそべ。こゝろしつきぐあちて。
まりなげあそべ。

第二十四
アニオトイモト タガヒニ ススミケフーハア
ンーキヨシ ゴキゲン イカガ イザワガト
モビト イー ザヤウチツレイー ザイザ
ノベニ アソビヤ エカン テニテヲ トリ
文部省

第卌 兄弟姉妹

あにおとゝいもうと。
くめのひとつすみ。
けふハてんきよし。
ごきげんいこのぶ。
いざわれの友びと。
いざやうちつれて。
いざ〱のべへ。
あそびやゆかん。
てにてをとり。

第二十五

第廿五　操練(さうれん)

一　いまより我等(これら)ハ。操練(さうれん)はじめん。
よくできたらハかしらとなりて。
はしづきせよ。

二　操練(さうれん)をするのハ。兵士(へいし)よおなじく。
足(あし)あくをそろへ。うたをうたひ。
すゝめよや。

三　おそれなき子(こ)供(ども)たち。いさましき子(こ)供(ども)を。
こぎやうにきのれ。わづのやにつへり。
あほもてよや。

第二十六
1. カザグルマ カゼノ
2. みづぐるま みづの
マニマーニメグルナリ
まにまーにめぐるなり
ヤーマズメグルモ
やーまずめぐるも
ヤマズメグールーモ
やまずめぐーるーも

第廿六 風車（かざぐるま）

一 かざぐるま。
風（かぜ）のまに〳〵めぐるなり。
やまぢめぐるも。
やまぢめぐるを。

二 みづぐるま。
水のまに〳〵めぐるなり。
やまぢめぐるも。
やまぢめぐるも。

第二十七
1
2
3
ハチヨミツバチヨ
ハナニハタハレズ
ソガツユモチキテ
カモセナガミツヲ
こよやみつばらよ
はるあきえせすみ
をばつくマてもて
こわがもとに
アハレタフモシク
テカラヲアハセテ
ミツヲバツクレリ
こヨヤこツバチヲ
幼稚園唱歌集
二十八

第廿七 蜜蜂

一 そちよ みつばちよ。
花は散れど。
そが露もちて。
かもせ。ちよのみつを。

二 こよや みつばちよ。
春秋とえらばず。蜜をバつくりおく。
もてこ。わがすみかへ。

三 あはましめれをしく。
力を合せて。蜜をバつくれり。
みるや。みつばちを。

第二十八
1. イチハノトリハトモマチツ
2. はやしのとまもとずゑのは
ケテアソビニユキース
なにむれてぞあそーぶ
トモヨトーモーヨトモヨイーヅー
ともよとーもーよともよいーづー
コワレヲモサーソーヘ
こわれをもさーそーゑ

第廿六　一羽の鳥

一

一羽の鳥ハ。友待つけて。
あそびてゆきぬ。
こゝろよく。やゝもよいげて。
つらきをもちそへ。

二

林の鳥も。こゑの花よ。
むれてあそぶ。
こゝろよく。そゝもよいげて。
わきをもささそへ。

第二十九
幼稚園唱歌集
文部省

第廿九　數へうた

一　一つとや。人々一日も。忘るなよ〱。はぐゝみそだてし。おやのおん。おやのおん。

二　二つとや。二つとおれみぞ。山櫻〱。ちりてもかをれや〱。きみぞのとめ。きこゆたため。

三　三つとや。みどりハ一つの。幼稚園〱。ちぐさてりそれ〱けり。あれの野邊。秋の野邊。

四　四つとや。世ぶ頼もしきハ。兄弟ぞ〱。しめぐのひもしむりびて。世をわたるぞ。よをこえたぞ。

五　五つとや。いつはり言いえぬ。幼子の〱。まなびのはじめぞ。よくまもれ。よくまもれ。

第二十九 つゞき
6.
7.
8.
9.
10.
幼稚園唱歌集
文部省

第廿九 同つゞき

六 六つとや。昔(むかし)をたづねて今(いま)をしり〱。ひらけやゆくま勢や〱。まごの國(くに)をまごのくにを。

七 七つとや。七つの寶(たから)。何(なに)かせん〱。すなほをよき師え。敎のたまも。こゝろのみがけ。

八 八つとや。八島(やしま)ひろぶしてよ。姫小松(ひめこまつ)〱。ゆきてしをいろます。そのみさをぞそのこゝろ哉。

九 九つとや。心(こゝろ)は玉(たま)なり。磨(みが)きみよ〱。ひかりはさやけし〱。秋(あき)の月(つき)。あきの月(つき)。

十 十(とを)とや。とよみくにの朝日(あさひ)かげ〱。いよ〱くまなし〱。きみがみよ。そこぐみよ。

明治二十年七月五日出版版權屆
同　年十二月　出版
東京音樂學校藏版

定價金拾錢

大日本圖書株式會社發賣音樂圖書目錄

幼稚園唱歌集
全一冊　定價金拾錢　郵稅貳錢

東京音樂學校編纂

本書ハ兒童ノ幼稚園ニアツテ嬉戲ノ際幼德ヲ涵養シ幼智ヲ開發スヘキ歌曲ヲ編輯シタルモノナリ抑幼稚ニ授クル唱歌ハ拍子ト調子トニ注意ヲ要スルモノニシテ拍子ノ緩徐ニ失スルハ活潑爽快ノ精神ヲ損シ調子ノ高低其度ヲ失スルトキハ啻ニ聲音ノ發達ヲ害スルノミナラス幼稚ノ性情ニ厭惡ヲ釀シ其暢ナ妨クルノ恐レアリ本書ハ最モ此點ニ注意シタリ

小學唱歌集
全三冊

●第一編定價金拾錢　●第二編定價金八錢　●第三編定價金貳拾錢　郵稅每冊一錢 貳錢ツヽ

文部省音樂取調掛編纂

本書ハ唱歌掛圖中ノモノヲ取テ之ヲ冊子ニ印行シ各自生徒ノ便ニ供スルモノナリ即チ其初編ハ唱歌掛圖初編及其續編中ノモノナリ其第三編ニ至リテハ唱歌掛圖ノ出版ナシ是第三編ニ稍々其程度ノ進ムモノニシテ音樂初等訓練ノ法即チ唱歌掛圖ノ方法ニ據ラスシテ可ナルヲ以テ之カ出版ヲ要セサル所以ナリ

小學唱歌掛圖
全三綴　定價　●初篇金貳圓五十錢　●全續金壹圓五十錢　●二編金壹圓五拾錢

文部省音樂取調掛編纂

右ハ初メテ音樂ヲ我教育上ニ施行セシカ爲メ音樂教育ノ學理ニ基キ適法ヲ研究シテ編纂シタルモノナリ抑音樂ヲ學校教科ノ一トシテ教授センニハ音樂上要スル所ノ記號譜歌曲等ヲ其時々黑板ニ記書スルヲ要スヘシ而シテ之ヲ黑板上ニ記スルトキハ或ハ解明ナラサルモノアリ或ハ匆卒誤謬ヲ免レサルモノアリ又張アリル時間ニシテ成シ得ヘカラサルモノアリ此レ之ノ掛圖ノ編纂アル所以ナリ書中記載ノ條項ハ音樂教育初等ノ練用ニ供スル音階ノ圖長短音符ノ區別等ヨリ起リ逐次中複唱歌ニ到ルモノナリ

中等唱歌集
全一冊　定價金貳拾九錢　郵稅四錢

東京音樂學校編纂

本書ハ曩ニ文部省音樂取調掛ニ於テ編纂發行セラレタル小學唱歌集ニ次キ東京音樂學校ニ於テ更ニ高等優美ニシテ殊ニ忠君愛國ノ心情ヲ涵養スヘキ歌曲等ヲ撰定相成タルモノナレハ中學校師範學校及高等小學校ニ適切ナルモノナリ

紀元節歌
全一折　定價金五厘　郵稅貳厘

式部長官男爵高崎正風作歌　文部省編輯局長伊澤修二作曲

此歌ニハ武德ノ頌、仁德ノ頌、皇基ノ頌。國幹ノ頌アリテ四段ニ分チ曲ハ高雅森嚴ヲ旨トシテ之ヲ編制セリ紀元節ニ此歌ヲ唱ハシメテ我國幹ノ尊キヲ觀シ忠君愛國ノ元氣ヲ煥發セシムルモノナリ

天長節の歌
全四折　一二種各定價金壹錢宛　甲乙二種定價金五厘宛　郵稅錢ツヽ

式部長官男爵高崎正風作歌　文部省編輯局長伊澤修二作曲

此歌ハ四段ニ分チテ明治ノ御代ノ泰平、武運隆盛、國家豐富、四海安樂ノ狀ヲ敘シ

曲ハ嚴肅活潑壯快ヲ旨トシテ聖壽ノ萬歲ヲ祝シ奉レルモノナリ天長節ニ此歌ヲ唱ハシメ大君ノ御代ヲ祝シ大君ノ萬歲ヲ祝シ奉リ忠君愛國ノ志氣ヲ發揮セシムルモノナリ此他同歌同曲ニシテ東京音樂學校教授ソプレーノ調和ヲ加フルモノアリ又同歌ニシテ曲ハ式部職樂師東京音樂學校教諭上眞行ノ作ニ係カルモノアリ又同シクソプレーノ調和ヲ加フルモノアリ併セテ四種トス

伊澤修二編 文部省檢定濟

小學唱歌 全六册

		定價
男女生徒用ノ部	第一	金七錢
	第二全	金拾貳錢
女生徒用ノ部	第三全	金拾三錢
	第四全	金拾四錢
男生徒用ノ部	第五全	金拾三錢
	第六全	金拾四錢

郵税每册貳錢ヅヽ

本書ハ伊澤先生ノ積年研究經驗ニ出タル編纂ニシテ全部六册ヨリ成リ第一卷ハ初學生徒ノ口授唱歌ニ便シ第二卷以下ハ數字及譜表ニヨリテ唱歌ヲ教授スルノ用ニ供ス樂律ハ本邦律旋法自然音階及ヒ俗樂調ヲ併用シ且先生ガ視話法ヨリ發明シタル發音練習法ヲモ加ヘタリ歌詞ノ如キハ本邦固有ノ童謠ヲ始メトシ新古ニ拘ラス智德ノ養成ニ益シ歌調ノ興味アルモノヲ撰ヒ祝日大祭日ノ歌ヲモ加ヘ終始教育ニ關スル勅語ノ旨意ヲ貫徹センコトヲ務メタリ樂曲ハ廣ク東西古今音樂家ノ作曲ヲ採リ方今歌學上及音樂上ニ有名ナル諸大家ノ賛同ヲ得テ大成シタル無比ノ唱歌書ナリ且卷三以下ニ至リテハ愈高尚ニ進ミ歌曲ノ性質ニ從ヒ男女ヲ分チ主トシテ高等小學ノ教科ニ資ス又各篇末ニ唱歌教授法及ヒ歌詞解釋ヲ載セタレバ師範學校ノ教科書トシテ三四ノ卷ハ女子部ニ五六ノ卷ハ男子部ニ適用スベキモノナリ

伊澤修二編 文部省檢定濟

小學唱歌 乙號

(三四五六)定價各金拾錢
(七八)同各金拾四錢
郵税每册貳錢

右ハ教授上ノ便利ヲ謀リ三四五六ノ卷ニハ小學唱歌ノ歌曲及歌詞ノミヲ載セ七八ノ卷ニハ樂曲教授法及歌詞解釋ヲ載セタルモノニシテ夏期講習會等ノ用書ニハ最適當ノ教科書ナリ

東京音樂學校編纂

箏曲集 全一册

並製金四拾九錢
上製金七拾五錢
郵税各四錢

本書ハ近代樂ノ記譜法ニ於テ箏曲ノ樂譜ニ編纂シタルモノナリ本邦在來ノ箏曲譜ト稱スル書ハ歌ノ文句ヲ自記スルニ止マリ曲ノ手付ヲ細示スルモノ曾テアルナシ是レ箏曲果學習ノ困難ナル所以ナリ且其歌調ノ如キモ卑猥ノ下風ニ流ルヽモノ少シトセズ元音樂取調掛既ニ見ルトコロアリ箏曲ヲ改正シ其卑猥ナル歌詞ハ之ヲ更訂シ德性ヲ涵養スルノ途ヲ開キマタ樂譜ヲ編製シテ聲曲ヲ耳ニ由テ授受スルト同時ニ亦之ヲ目ニ由テ記スルノ途ヲ開キタル所以ノモノ即チ是ナリ此書一タヒ世ニ出ツルヨリ箏曲學習上ニ便益ヲ與ヘ箏曲生徒ノ進歩著迅ナルハ日ニ之ヲ實際ニ徵スル所ニシテ亦我國古來數千年ノ箏曲古物モ此ノ樂譜ニ由テ規則ヲ得ヘキニ至リ我日本國ノ箏曲ヲシテ海外千萬里ニ致シ異域ノ聽衆ヲ驚駭セシムルヲ得ルモノナリ

音樂訓蒙　全一册

獨逸音樂教育家リヰーベカ編　東京音樂學校教諭菊池武信譯

定價金四拾五錢　郵税拾錢

本書ハ尤モ音樂ノ技術ニ熟達シ數十年間音樂ノ教授ニ從事シテ經驗ニ富メル有名ナル獨逸國音樂教育家リヰーベカ殊更ニ日本人ノタメニ編輯シテ舊東京女子師範學校ニ送リ越シタリ草稿ヲ菊池武信ニ飜譯セシメタルモノナリ其載スル所ハ凡テ音樂ノ理論及技術ニ關シ緊ナルモノハ其要ヲ摘ミテ漏サス叮嚀明瞭ニ論述セリ今其要ヲ掲クレハ初メニ洋琴鍵盤ノ説明ヲナシ諸識ノ名稱位置ヲ論シテ音階ノ説明ニ及ホシ尋テ長音階單音階ノ道理竝ニ其製作ノ方法ヲ致セリ次ニ編者ノ經驗ト理論トニ照シテ音樂ヲ學フノ手段如何ヲ説キ次ニ旋律、和聲、音程等ノ如キ凡テ音樂ニ關スル重要ノ術語ヲ解釋シ二三ノ樂典ヲ記載シテ種々和絃ノ例ヲ示シ之ヲ記憶ニ便ナラシメンカ爲メ一々問答ヲ以テ之ヲ詳説セリ次ニ音樂ヲ奏スル實地ノ練習ニ必要ナル材料ヲ載セテ指母ノ運用法指子ノ方并ニ奏樂中演奏者ノ心得ヲ述タリ次ニ凡テノ調ニ於ケル長音階ノ譜ヲ記載シ又其運指法ヲ示セリ而シテ之ヲ示スニ僅々二三ノ表ヲ以テス實ニ新奇ノ妙工夫ナリ次ニ轉調ニ依リテ結合シタル長音階及單音階ノ事ヲ説キ一々之カ譜ヲ示セリ次ニ移調ノ練習ニ供スヘキ材料ヲ載セ卷末ニ至リテ實物ノ洋琴并ニ理論ノ復習ニ便ナラシメンカ爲メ數多ノ歌曲ヲ掲載シタリ故ニ本書ハ師範學校等ニ於テ樂器ノ使用法ヲ學ヒ且ツ實地ニ應用シテ諸般ノ樂曲ヲ演奏スヘキナリ

音樂指南　全一册

文部省音樂取調掛編纂

定價金四拾八錢　郵税八錢

本書ハ彼ノ音樂教授法ニ有名ナル米國ノ音樂教育家メーソン氏カ曾テ多年實驗上ノ苦辛ヲ經テ著述セル有名ノ書籍ミユージ、クチーチヤアナル一册子ヲ譯述シタル者ナリ本書全躰ノ組立ハ問答ノ躰ニ成リ時ニ或ハ教師ニ指導懇諭スル所アリ亦本書譯述ノ際小學唱歌集合セテ例解ヲ與フル所アリ本書特有ノ長處ハ生徒ノ授業中歡樂ヲ感受スル中ニ知ラス識ラス音樂ノ教授ヲ受ケシムルノ方法ニ據レルモノナリ

音樂問答　全一册

文部省音樂取調掛編纂

定價金三拾七錢　郵税六錢

本書ハミユージカル、カタキズムト號スル一書ヲ譯述スルトコロニシテ音樂上ノ要領ヲ撮術シテ問答トシ至平易ニ解説シタルモノニシテ音樂ヲ簡易ニ會得セシムヘキモノ實ニ此書ヲ最トス

樂曲初步　全一册

英國教育大家セームスカレト原著　內田彌一譯　神津專三郎閲

定價金貳拾九錢　郵税六錢

本書ハ其大要分チテ五ケ條トス即チ音符論、拍子論、音諧論、音調論及諧論是ナリ音符論ハ音符ヲ以テ諸聲音ヲ表示セル所以ヲ詳ニシ專ラ樂譜構成ノ要綱ヲ論シ拍子論ハ樂曲奏法ノ節度ヲ論シ音階論ハ長短各種ノ音階構成ノ方法彼此音階ノ關係與變調音等ノ作用調號ノ區別等ヲ論シ音程ノ長短定不定ヲ詳ニシ音樂高度ノ差異ヲ論シ調論ハ調ノ成立轉調ノ理法方法等ヲ論シ卷末ノ附錄ニハ音樂上特別ノ解釋ヲ要スル事項ヲ摘抄シテ具サニ之ヲ説明セリ要スルニ本書ハ音樂上ノ典則ヲ最簡ノ方法ニ據リテ論述シタルモノナリ

東京音樂學校出版

音樂取調成績申報要略　全一册

定價金四拾五錢　郵税八錢

本書ハ音樂取調ノ成績ヲ條述シ嘗テ伊澤音樂取調長ヨリ大木文部卿ニ呈出シタルモノニシテ音樂取調ノ創業內外音律ノ異同本邦樂律及音階希臘樂律音樂沿革大綱音樂ト教育トノ關係音樂唱歌教則ノ編成唱歌教科書其他音樂書類ノ刊行樂器ノ試製改造